

高圧交流負荷開閉器 (PAS) は貴事業場の守護神です！

①高圧交流負荷開閉器 (PAS:Pole Air Switches:パス) とは？ 注) 絶縁物がガスの場合はPGSと云います。

- 設置されている位置は？
電力会社との受電点。(構内第一号柱又は、高圧受電盤内)
- 目的は？
保安上の責任分界点を設ける。
PAS (高圧交流負荷開閉器) により、電力会社と貴事業場を電気の保安管理上の責任分界点としている。
(注：財産の分界点はPAS一次側接続点となる)

自己防衛をする。

貴事業場内の電気災害をキャッチし、電源の開放 (切) を行い、貴事業場内の事故を最小限度に食い止める。
(人命と財産の保護)

他の事業場 (会社) へ迷惑を掛けない。(波及事故の防止)

貴事業場内の事故で電力会社の配電線を停電させ他の会社を停電させる (波及事故と言う) と、多大な損害賠償を訴えられる可能性がある。
(損害賠償に対する防止策)

②PASは二つの保護機能をもっている。(SOG制御機能)

高圧受電設備の

●漏電の保護 (GR動作)



●短絡 (ショート) の保護 (SO動作)

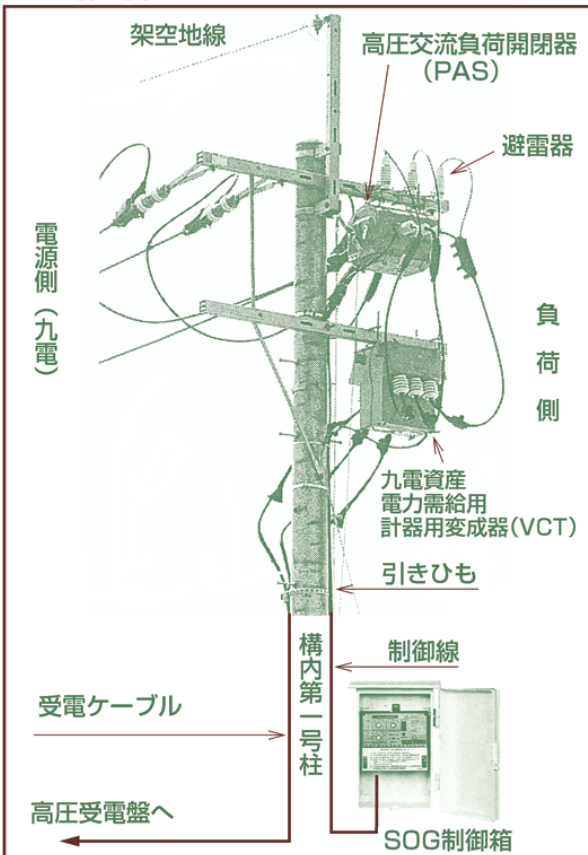


注) 漏電と短絡が同時発生の場合はSO動作優先となる



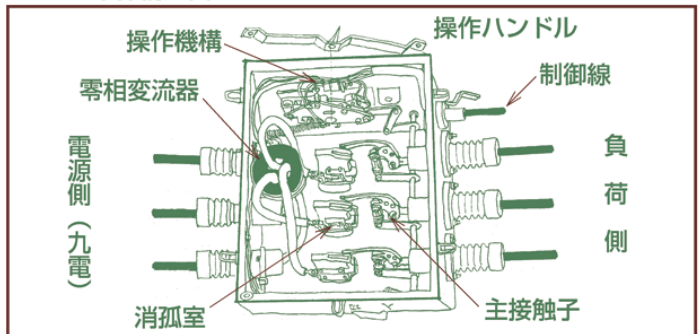
PASは短絡大電流の開放能力なし

■全体図



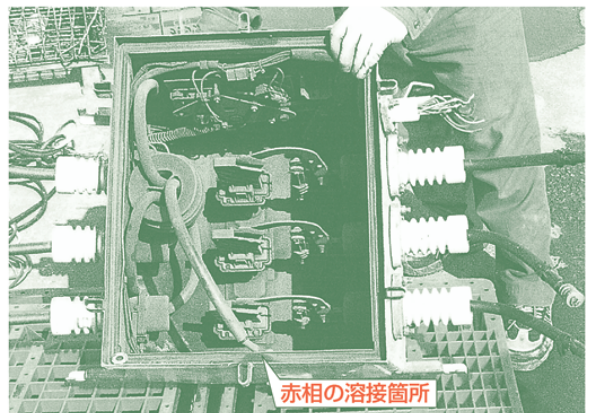
(株)戸上電機製作所カタログより抜粋

■PAS本体構造図



■更新時期を過ぎ使用した場合の事故写真

電源側のリード線が三線共、端子部で溶断し、赤相の線が箱体に溶接している。
(電源側リード及び端子部が、雨水の浸入で腐食、短絡電流に耐えられない状況にあった)



赤相の溶接箇所

